

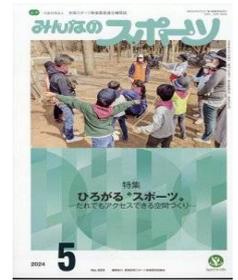
『みんなのスポーツ』5月号（No.503）から学ぶ

林 但

平素より協議会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

表記、公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合機関誌の5月号は「ひろがる“スポーツ”」の特集号です。

私の視点で気づいたこと・感じた事、参考になる点を3点記載します。



(1) 今月号ではモルックについて、2つの市で取り上げられていました。横須賀市でも今年度は重点的に取り組んでいきます。

ひとつは、P8「わが町の健康・体づくり 岐阜県瑞穂市」を読んで、地域へスポーツを普及するにあたって種目を選ばれた。その理由は、手軽にできるし、場所も取らないしやってみれば子供から大人まで誰でも楽しむことができる。そして用具も安価。同感である。2例目は、P20「事例2 宮城県大崎市」である。

昨年、武山地域で「ふれあいスポーツ体験会」の種目に入れて行った。私スポーツはどうも苦手という方や小学生がやってみて「これって面白いねー」となり、町内会から用具の貸し出しの要求が相次いであり追加で1セット購入した。今回の大崎市の記事を読んで感じたことは2つあります。

- ① さまざまなスポーツに目を向けながら、人と人をつなぎ、地域の活性化につなげている。
- ② 室内用モルックがあることは知っていたが、実際に使って室内モルックの出前教室を行なっている例が写真で紹介されていた、これについて調査をしていきたいと感じました。

(2) P22 事例3 東京都練馬区 「かまどで火起こし」「飯ごうでご飯を炊いてみる」親子でアウトドア体験 私自身もキャンプや野外体験、自然観察会・環境問題などの活動に取り組んでいた期間が長く、今回取り上げられうれしく思います。記載されていた内容と同じようなこと行っていました。自然の中で学ぶこと・遊ぶことで豊かな感受性を養い、親子間や仲間との交流を図ることです。今娘夫婦が機会あるごとに、子供たちとアウトドア体験をしているのを見ていてそう感じます。また、昨日自宅近くの支援学校から7月に「海、自然観察・キャンプ」の講師要請を受けましたので、久々のことで準備をして新たな気持ちで取り組もうと考えています。

(3) P25～ R5 年度スポーツ推進委員リーダー養成講習会について、詳しく記載されています。理由は地域スポーツが大きな変革を迎えようとしている今こそ、資質向上が求められているからだと私は考えます。私も昨年受講しましたが今回な隣町から受講の方があり、この方にブロックの情報交換会や研修会の時にお会いして話を伺ってみたいと思います。

今月号では3つの事に記載致しました、知っていることが多いと思う方もあるかもしれませんが、気づいたことでできることから始めて（行動）みませんか？

* 本冊子は有益で私たちの活動のヒントや答えがあるように私は思います。年間購読されなかった方は、個別にも購入はできますので一度読んでみてください。問題意識や感度を高めていくと紹介されている事例が使える場合とこのままでは使えないがこうすればできる。こんな方法もあるなど感ずると思います。是非一緒に取り組んでいきましょう！

以上